

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（平成21年度採択）

中間評価結果

| 番号 | 研究課題名 | 研究代表者 | 評価 |
|------|------------------------------|---------------------|----|
| 21-4 | 水分履歴を考慮した不飽和道路盛土の耐震性の評価法と強化法 | 京都大学大学院 教授 岡 二三生 | A |

<研究の概要>

豪雨や浸透水など水分履歴を考慮した道路盛土の耐震性の評価法および強化法の確立のため、各種地盤探査、不飽和土の実験的な研究、地震時の不飽和-飽和地盤の動的浸透-変形連成解析法の開発を実施する。

<中間評価結果>

ユニークな研究となっており、基礎的な研究と同時に、今後実施予定の物理探査を通して実務への適用にも関心を払いつつ、現行のとおり推進することが妥当である。

<参考意見>

1. 早期の現場での適用を検討していただきたい。
2. 研究成果を道路管理の現場でどう活かすかが重要であるため、実務で研究成果を活用できるよう、まとめるとともに、物理探査と耐震性評価法との関係を手引き書等で示していただきたい。